

パドルの聖地 中野体育館

中体クラブは誰でも楽しめる毎週金曜日の一般開放と一緒にです。平成元年当時の一般開放の参加者でスポーツ保険に加入するため、自主的に生まれたクラブです。

正式登録名は中野体育館パドル同好会、略して中体クラブです。

現在、在籍者 46 名毎年その中から数名は他のクラブへ移り又新しい人が加わり成長しています。代表は（杉山ママ）の愛称で呼ばれている私。

きょう午前の参加者 46 名、パドルを楽しみながら上を目指す元気な平均年齢 70 歳位？ 指導は田澤コーチ。午後は 41 名年齢も少し若くなり、競技スポーツとして上級者が多く、指導は宮本晶子コーチ。双方バランスよく分かれている感じがします。

中体クラブと一般開放は切っても切り離せない存在なのです。

一般開放の歴史を紐解いてみますと、昭和 63 年 8 月に一般開放が始まり、平成 2 年午後も開放となり、午前は杉山コーチ（現テニス連盟会長）、午後は亀石コーチ（現会長）の指導で、両方合わせると 100 名以上集まる日もあり、パドルテニスが話題を呼びました。テレビ局、ラジオ局、雑誌社の取材が度々ありました。今思うと懐かしい思い出です。

一般開放の基盤は杉山、亀石両コーチが作られて、今に繋がっています。

初心者歓迎の金曜日はパドルライフの出発点です。



100 歳の山田喜一郎さんを囲んで



午前の参加者



午後の参加者